

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響



ピアノ **角野隼斗**

クラシック界の常識を覆し、
異彩を放つ新時代のピアニスト



チェロ **北村陽**

若き天才として注目を浴びる、
17歳の新星チェリスト

指揮:小林資典

メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ドヴォルザーク
チェロ協奏曲 ロ短調 作品104

チャイコフスキー
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23



《三大協奏曲》クールに、華やかに。

ヴァイオリン
石上真由子

幅広い活動を展開しつつ、
独自の道を進む新鋭ヴァイオリニスト

©Kohán István

読売日本交響楽団サマーフェスティバル2021

三大協奏曲 8月14日(土)14:00 東京芸術劇場 S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

2021 **8.18** WED 《三大交響曲》熱く、ドラマティックに。

読売日本交響楽団サマーフェスティバル2021

三大交響曲
《未完成》《運命》《新世界》

8月18日(水)18:30
東京芸術劇場

S¥7,600 A¥6,600
B¥5,600 C¥4,100

シューベルト
交響曲第7番 ロ短調 D759 「未完成」

ベートーヴェン
交響曲第5番 八短調 作品67 「運命」

ドヴォルザーク
交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界から」



指揮 **小林資典**

知る人ぞ知る名匠が登場!
ドイツを拠点に活躍し続ける
劇場たつき上げの実力者

©García Garcíacano

●読者会員チケット優先発売:6月18日(金) ●チケット一般発売:6月26日(土)
読響チケットセンター 0570-00-4390(10時-18時・年中無休)
<https://yomikyo.or.jp/>

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
事業提携:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

YOMIKYO SUMMER FESTIVAL 2021

YOMIKYO SUMMER FESTIVAL 2021

クラシック音楽を今に伝える アーティストたちが登場！ 読響サマーフェス2021、 熱い夏がやってくる。

夏の恒例となっている人気企画、読響サマーフェスティバル《三大協奏曲》&《三大交響曲》を開催します。いま最もホットなソリストらを迎えて、オーケストラの有名曲をお届けします。情熱あふれる2日間を、お楽しみください。

指揮者は、ドイツの歌劇場で目覚ましい活躍を見せる小林資典。独ドルトムントを拠点とする“知る人ぞ知る実力者”小林が日本で指揮台に上がるのは珍しく、在京オーケストラを振るのも今回が初めてです。どうぞ、ご注目ください。



©Jan-Philipp Behr

石上真由子 (いしがみ まゆこ) ヴァイオリン

規格外の才能で、医学を極めるも音楽に身を捧げる気鋭のヴァイオリニスト。1991年生まれ。8歳でローマ国際音楽祭に招待される。日本音楽コンクール第2位、令和元年度京都市芸術新人賞受賞ほか、国内外で多数の受賞歴を持つ。2018年京都を中心に室内楽を行うEnsemble Amolbeシリーズを立ち上げ、各地で公演を行う。日本コロムビアよりCD「ヤナーチェク：ヴァイオリン・ソナタ」をリリース。今年5月東京オペラシティでの「コンポーザム2021」でデュサパン作品を演奏し、絶賛された。京都市響、東響、東京フィルなどと共演。読響初登場。



©Kohán István

角野単斗 (すみの はやと) ピアノ

クラシックに確かな位置を築きながら、ジャンルを越えた活動で異彩を放つ新時代のピアニスト。1995年生まれ。東京大学大学院修了。渡仏し、音響音楽研究所(IRCAM)で音楽情報処理を研究するほか、ジャン＝マルク・ルイサガラに師事。ピティナ特級グランプリ受賞、リヨン国際コンクール第3位。国内外でコンサート活動を行う傍ら、「Cateen(かていん)」名義で自作編曲および演奏した動画をYouTubeにて配信し、チャンネル登録者数は74万人を突破している(21年5月現在)。アルバム「HAYATOSM」(eplus music)をリリース。今年6月にはブルーノート東京にも出演。読響初登場。

8月14日の《三大協奏曲》では、新進気鋭のソリスト3人が共演します。最初に登場するのは、医学の道も極めながら、ヴァイオリニストとして従来の枠にとらわれない活動を展開している石上真由子。メンデルスゾーン協奏曲で規格外の表現力を見せつけます。次に登場する北村陽は、幼少からその驚異的な才能を発揮し続ける新星チェリスト。ドヴォルザークの哀愁たただよう名旋律をたっぷりと響かせるでしょう。そして最後は、「Cateen(かていん)」の名で投稿したYouTube動画が若い世代を中心に人気沸騰中、異彩を放つピアニスト角野単斗が登場。チャイコフスキーのピアノ協奏曲で颯爽たるソロを披露し、会場を熱狂へと誘います。

8月18日の《三大交響曲》では、小林資典が本場で磨き抜かれた確かな腕前で、「未完成」「運命」「新世界」を披露し、名曲に新たな輝きを与えるでしょう。

暑い夏にこそふさわしい、熱い演奏をご堪能ください！

小林資典 (こばやし もとのり) 指揮

ドイツの歌劇場で培われた、類まれな感性と実力を発揮するマエストロ。東京芸術大学、同大学院を経て渡独し、ベルリン芸術大学で学ぶ。2000年からライン・ドイツ・オペラでコレペティトゥーア及び音楽アシスタント、通奏低音奏者も務める。08年、ドルトムント歌劇場の専属指揮者として契約し、13年から現在まで、同歌劇場の音楽総監督代理と第一指揮者を務めている。ドイツのAクラス劇場において、第一指揮者以上の要職にある唯一の日本人指揮者として活躍しており、古典から現代作品まで幅広いレパートリーを指揮している。ベルリン・コーミッシェ・オーパー、マンハイム国民劇場、ヴッパータール響などに客演。日本では、18年に大阪響に客演して成功を収めたほか、19年パレエ・アム・ラインの日本公演での「白鳥の湖」で好評を博した。読響初登場。

北村陽 (きたむら よう) チェロ

「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」に優勝し、驚くべき天才として注目される17歳の新星チェリスト。2004年生まれ。9歳でオーケストラと初共演。演奏動画は、各メディアでも取り上げられ、話題を呼んだ。大阪フィル、東響、東京フィルなど多数の楽団と共演。18年芸劇×読響ジュニア・アンサンブル・アカデミーを受講。20年に井上道義の指揮で読響とハイドンの協奏曲第1番のソリストとして初共演し、好評を博した。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与されている1668年製「カッシーニ」。



©平野平

読響日本交響楽団 サマーフェスティバル2021《三大協奏曲》

2021年8月14日(土) 14時開演
S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

読響日本交響楽団 サマーフェスティバル2021《三大交響曲》

2021年8月18日(水) 18時30分開演
S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-6391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分
(※駅地下通路26出口と直結しています)

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター 0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) 学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を混ぶることはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル、払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■両公演は、読響会員特典の「振り替え制度」の対象外です。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296